

(件名) 「中種子養護学校屋久島支援教室」小学部・中学部設置のお願いと
高等部の教育環境整備に関する陳情

(陳情の要旨)

先日5月18日、県議会文教観光委員会の皆様に私共の思いをお聞きいただき意見交換ができましたことに心より感謝申し上げます。「中種子養護学校高等部 屋久島支援教室」が開設され、現在までに3名の卒業生を送り出しそれぞれの道を歩んでおります。本県においてもご理解をいただき、年々特別支援教育に関する整備がなされてきたことに大変感謝申し上げます。

しかしながら、現在義務教育の特別支援学級において、より専門的な支援を必要とする子どもたちがいます。また、重度の障がいのある子どもたちも就学を控えております。

今後は「中種子養護学校 屋久島支援教室」に小学部・中学部を開設し、特別支援教育の核として専門的な知識を持つ教員が常駐することで、特別支援教育を必要としている子どもたちのニーズに応じることができるよう、各学校や園などと連携して教育支援や研修に当たる柔軟な仕組みづくりが必要だと考えます。

また、通学や交流に際しては交通手段の整備や補助者の確保なども必要になってきます。

屋久島に住む障がいのある子どもが家族と一緒に生活をしながら、安心かつ継続してより専門的な特別支援教育を受けることができるように「中種子養護学校 屋久島支援教室」に小学部・中学部の設置をお願いいたします。

現在開設されている「中種子養護学校高等部 屋久島支援教室」においては一からのスタートで大変な中、木工製品作りをしたり、清掃技能を身に付ける環境を作ったりと工夫して取り組んでいらっしゃいます。今後それぞれの子どもたちの特性に応じた就労技能の習得や支援、生涯を通して楽しむことができる障がい者スポーツ等の環境整備ができますように、教育環境の更なる充実をお願いいたします。

以上の趣旨に基づき下記事項を陳情いたします。下記項目におきまして町議会にも提出しておりますので、県と町が連携して取り組まれますことを希望いたします。

記

- 1 「中種子養護学校 屋久島支援教室」に特別支援の屋久島の拠点となる小学部・中学部の開設をしてください。また障がいに応じて専門的に（医療ケアも含む）支援できる教職員の配置や障がいのある子どもたちの住む地域の学校での学習が、必要に応じてできるような仕組みづくり、通学・交流のための交通手段の整備や補助者の確保等をお願いします。
- 2 「中種子養護学校高等部 屋久島支援教室」において、就労に結びつく技能・技術の習得ができる環境整備と生涯教育や障がい者スポーツ等につながる環境整備をお願いします。